

学校教育目標	日に学び さやかな土合 光る汗
目指す学校像	○笑顔あふれる学校 ○あいさつが飛び交う学校 ○行事が魅力的な学校
重点目標	1 教育DXの推進による子どもたちの学びの変革の実現 2 子どもたちの幸せを保障する教育の実現 3 エージェンシーを育てるコミュニティ・スクールの実現 4 全ての生徒の幸せを保障する教育環境の実現 5 教育DXを活用した量的・質的な働き方改革の実現

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学 校 自 己 評 価				学校運営協議会による評価	
		年 度 目 標		年 度 評 価		実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 ○R7 学校評価保護者アンケート「分かりやすい授業の工夫」の肯定的な回答の割合は89%であり、生徒の実態に合った授業ができています。 ○情報端末を活用しながら、教科と特別活動、道徳、総合的な学習の時間との教科横断的な視点にたった授業が見られるようになった。 【課題】 ○さらなる学力の向上のためには、授業力向上に向けた不断の研修が必要である。 ○教科を超えた教科横断的な視点にたった授業展開を行い、探究的な学びをより深める必要がある。	・学力向上に向けた教職員の指導力向上に関する取組 Technology&Heart技術と人間性が調和する教育の実現に関する取組	①全ての教員が年間2回の授業公開を実施するとともに、年間3回の授業観察を通し、互いに学びあいながら指導力向上を図る。 ②カリマネデザインマップを活用し、教科横断的な視点にたった探究的な学びの実現を図る。	①授業観察シートに係る数値目標 ②教科横断的な視点にたった授業が展開できたか。			
2	【現状】 ○R7 学校評価生徒アンケート「学校は生活が楽しいと感じている」に「全くそのとおり」の割合は65%であり、多くの生徒が学校生活に満足している。 ○ステップアップルーム (Sola るーむ) の活用や Growth との連携など、個々の状況に合わせた多様な学びの場が用意できている。 【課題】 ○生徒の中には人権に配慮できていない言動があることがあり、人権意識の高揚は急務となっている。 ○ステップアップルーム (Sola るーむ) を Growth に通っていた生徒の受け皿となるように、一人ひとりに応じた学習環境の整備を行う必要がある。	・人権教育の充実による豊かな心の醸成を図る。 ・個々の生徒・保護者の思いを受け止め寄り添い、誠実に対応する支援体制の実働	①人権教育に係る研修を充実させるとともに、すべての教育活動を通した人権意識の高揚を図る。 ②「3つほめて1つ指導」生徒一人ひとりの心情に応じた励ましや賞賛の実践。	①R7 学校評価生徒アンケートに人権意識の高揚にかかる数値 ②生徒が安全安心に学校生活を過ごすことができたか。			
3	【現状】 ○部活動地域展開のモデル校として、教職員の兼職兼業、統括団体からの指導者派遣、1年目としてはおおむね良好な活動ができています。 ○学校運営協議会において保護者、地域と連携し、目指す生徒像の実現に向けて積極的な熟議を積み重ねた。地域も協力的であり、学校との連携は図れている。 【課題】 ○部活動地域展開を継続的に進めるためには、「まちクラブ (仮)」のような中心となる組織を立ち上げる必要がある。 ○子どものエージェンシーを育てるためには、継続的に地域と生徒が意見交換をする場を作る必要がある。	・学校内外の指導力を活用した専門性の高い指導を行うとともに、部活動地域展開にむけた体制づくり ・学校運営協議会を基盤とし家庭、地域と連携を密にした、子どものエージェンシーを育てる取組	①本校の実態に合った「まちクラブ (仮)」を立ち上げ、持続可能な体制づくりを行う ②地域、保護者とも連携を図り、指導者としての参加や活動の支援など、協働して子どもたちを育てる取組の実施。	①「まちクラブ (仮)」の設立ができたか。 ②部活動地域展開に係る生徒・保護者アンケート調査の数値目標			
4	【現状】 ○施設の老朽化が目立ち、優先順位を付けて修繕を行っているが追いつかない現状がある。 ○定期的な安全点検の成果もあり、教職員の事故防止に係る意識は高まっている。 【課題】 ○安全点検の項目や内容を見直し、より正確に修繕箇所等の把握を行っていく必要がある。 ○計画的に不要物の廃棄を行い、子どもにとって必要なものに予算をかけていく必要がある。	・施設・設備点検や修繕を通した事故防止対策に関する取組 ・適正かつ確実な予算執行に関する取組	①安全点検の項目の見直しを図り、全教職員による毎月の安全点検に加え、管理職による目視による点検の実施。 ②修繕箇所の即日対応並びに教育委員会とも連携を図り安全な環境づくりを行う。	①学校評価 (教職員) 「毎月の安全点検が確実に実施され、必要に応じた対応が施されているか」の項目において、肯定的な回答の割合が80%以上を達成できたか。 ②修繕箇所の即日対応を行うことができか。			
5	【現状】 ○ミドルリーダーを中心に、一人1主任で校務分掌を担当しているが、学年分掌を加えると複数主担当を受け持つ教員も多くなる。 ○主担当を中心に行事の企画・運営とコミュニケーションをよく取り行うことができる。 【課題】 ○教職員により業務量に差が大きく、一部の教員への負担が大きくなっている。 ○保護者配信ツールの導入もあり、量的な業務改善は進んでいるが、質的な業務改善には至っていない現状がある。	・業務量平準化を図り、質の高い授業づくりに注力できる環境づくり ・教育DXを活用した業務効率化を図る取組	①法令に基づく業務量管理による時間外在校等時間減少の確実な実施 ②校務分掌組織の見直し、教職員一人ひとりに役割を持たせることで業務量の平準化を図る。	①業務量管理に関する数値目標 ②時間外在校等時間月30時間を超える職員の人数をR7より減らすことができたか。			

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校運営協議会からの意見・要望・評価等

